

2017年度(2017年4月～2018年3月)
地域ケアシステム看護学分野 業績

分野構成(2018年4月1日時点)

教授(兼任):大森純子、講師:津野陽子、助手:松永篤志
大学院(博士課程)0名、大学院(修士課程)0名、卒業研究生0名※公衆衛生看護学分野と合同体制

主な研究テーマ

公衆衛生看護学分野と合同体制で、教育、研究、社会的活動に取り組んでいる。

【主な研究テーマ】

1. 地域保健福祉活動における協働の活動方法論に関する研究／2. 保健師活動に関する研究／3. 健康と生産性の最適化を目指す働き方モデルの構築／4. 被災地における中長期的保健福祉活動に関する研究

主な研究業績(2014年1月以降)

【主な研究論文】

- ・ Kawasaki C, Omori J, Ono W, Konishi E, Asahara K. Public Health Nurses' Experiences in Caring for the Fukushima Community in the Wake of the 2011 Fukushima Nuclear Accident. *Public Health Nursing*. 2017; 33(4):335-42.
- ・ 大森純子, 田口敦子他, 計6名. 地域への愛着を育む取組み・新たな英略的实践の開発, 保健師ジャーナル. 2017;73(1):62-7.
- ・ 大森純子, 三森寧子他, 計9名. 公衆衛生看護のための“地域への愛着”の概念分析. 日本公衆衛生看護学会誌. 2014;3(1):40-48.
- ・ 酒井太一, 大森純子他, 計7名. 向老期世代における“地域への愛着”測定尺度の開発, 日本公衆衛生雑誌. 2016;63(11):664-74.

【主な著書】

- ・ Sumikawa Tsuno Y, Togari T, Yamazaki Y. Perspectives on salutogenesis of scholars writing in Japanese. In: Mittelmark MB, Sagy S, Eriksson M, Bauer G, Pelikan JM, Lindström B, Espnes GA editors. *Handbook of Salutogenesis*. Switzerland: Springer; 2016. p. 399-403.
- ・ 大森純子. 知の創出と洗練—科学の実践としてのインタビュー. in: 斎藤清二, 山田富秋, 本山方子(編). 質的心理学フォーラム選書1 インタビューという実践. 東京: 新曜社; 2014. p. 63-80.
- ・ 大森純子. 保健師が担う政策化のプロセスと方法論. In: 星旦二, 麻原きよみ(編). 東京: 日本看護協会出版会; 2014. p. 122-7.
- ・ 大森純子. 住民との協働による地域づくり. In: 佐伯和子(編). 公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護技術. 東京: 医歯薬出版; 2014. p. 113-31.

【主な学会発表】

- ・ Takanashi K, Kamei T, Hishinuma M, Omori J, Asahara K, Arimori N, Shimpuku Y, Tashiro J, Ohashi K. Concepts of a People-Centered Care Model Based on Shared Partnerships between Community People and Health Care Professionals in the Unprecedented Japanese Aging Society. 11th Biennial Conference of the Global Network of WHO Collaborating Centres for Nursing and Midwifery; 2017 Jul 28-29; Glasgow.
- ・ Asahara K, Kobayashi M, Konishi E, Anzai Y, Miyazaki M, Miyazaki T, Omori J, Ono W, Mitsumori Y, Nagai T. Development of public health nursing ethics education for nursing students. The 4th International Global Network of Public Health Nursing Conference; 2017 Sep 19-20; Billund.

【主な受賞】

- ・ 第55回日本医療・病院管理学会学術総会優秀演題賞(ポスター賞)(津野陽子)2017.9.18.
- ・ 第90回日本産業衛生学会優秀口演賞(津野陽子)2017.5.13.
- ・ 日本看護科学学会学術論文奨励賞(松永篤志)2016.12.10.
- ・ 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会優秀ポスター賞(大森純子)2016.1.24.
- ・ 日本公衆衛生看護学会学術奨励賞優秀論文部門(大森純子)2016.1.23.
- ・ 日本看護科学学会表彰論文優秀賞(大森純子)2014.11.29.

1. 原著論文・総説（査読あり）

- ・ Kamei T, Takahashi K, Omori J, Arimori N, Hishinuma M, Asahara K, Shimpuku Y, Ohashi K, Tashiro J. Toward Advanced Nursing Practice along with People-Centered Care Partnership Model for Sustainable Universal Health Coverage and Universal Access to Health. *Revista Latino-Americana de Enfermagem*. 2017;25:e2839 DOI:10.1590/1518-8345.1657.28

2. 著書

3. 原著論文・総説(査読なし)/紀要・解説

- ・ 大森純子, 田口敦子, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 戸田亜紀子, 矢野しのぶ, 三笠幸恵, 地域への愛着研究会. 地域への愛着を育む取り組み—新たな英略的实践の開発. *保健師ジャーナル*. 2017;73(1):62-67.
- ・ 大森純子. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会（2017年1月21日—22日仙台国際センター）メインテーマ「公衆衛生看護のソーシャルデザイン—人々と共にまちとくらしの未来を拓く—」, 公衆衛生みやぎ. 2017;469:1-2.
- ・ 大森純子. 公衆衛生看護のソーシャルデザイン—人々と共にまちとくらしの未来を拓く—. *日本公衆衛生看護学会誌*. 2017;6(1):73-82.

4. 国際学会発表

5. 国内学会発表

- ・ 麻原きよみ, 荒木田美香子, 江川優子, 遠藤直子, 川崎千恵, 北宮千秋, 小林真朝, 小西恵美子, 三森寧子, 永井智子, 大森純子, 小野若菜子, 折田真紀子, 梅田麻希. 保健師基礎教育における放射線教育の実態. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2017 Jan 21-22; 仙台.
- ・ 伊藤海, 田口敦子, 松永篤志, 山崎菜穂子, 竹田香織, 村山洋史, 大森純子. 「互助」の概念分析-地域包括ケアシステムにおける互助促進モデルの開発に向けて-. 第76回日本公衆衛生学会総会; 2017 Oct 31-Nov 2; 鹿児島.
- ・ 大森純子. 会長講演「公衆衛生看護のソーシャルデザイン—人々と共にまちとくらしの未来を拓く」. 第5回日本公衆衛生看護学会（講演集 P39-40）; 2017 Jan 21-22; 仙台.
- ・ 大森純子. 看護科学学会学術用語検討委員会 ワークショップ 第37回日本看護科学学会学術集会; 2017 Dec 16-17; 仙台.
- ・ 川崎千恵, 北宮千秋, 吉田浩二, 大森純子, 小西恵美子, 菊地透, 折田真紀子, 小野若菜子, 三森寧子, 小林真朝, 永井智子, 遠藤直子, 江川優子, 荒木田美香子, 麻原きよみ. 保健師の基礎・現任教育に必要な放射線に関する教育内容 福島県・隣県保健師の原発事故当時の経験に基づく認識から. 第6回日本放射線看護学会学術集会; 2017 Sep 2-3; 名古屋.
- ・ 倉田里衣子, 田口敦子, 松永篤志, 山内悦子, 後藤悦子, 浦山美輪, 菅野エリ子. 特定機能病院の外来における在宅療養支援に関する啓発ツールの開発と有用性の検討. 第19回日本医療マネジメント学会学術総会; 2017 Jul 7-8; 仙台.
- ・ 剣持麻美, 松永篤志, 田口敦子, 佐藤日菜, 山内悦子, 菅野エリ子, 浦山美輪, 永田智子. 退院後在宅療養を継続できた患者へ医療スタッフが行ったケアの特徴とそれを可能にした要因に関する質的研究. 第20回日本地域看護学会学術集会; 2017 Aug 5-6; 大分.
- ・ 渋谷克彦, 津野 陽子, 古井 祐司, 平田 輝昭, 福井 卓子. 労働生産性指標(プレゼンティーズム)の変化に関連する職場要因と心理社会的要因. 第76回日本公衆衛生学会総会; 2017 Oct 31; 鹿児島.
- ・ 菅野史夏, 竹田香織, 大森純子. 乳がん検診の受診行動を促進, または阻害する要因に関する文献検討. 第76回日本公衆衛生学会総会; 2017 Oct 31-Nov 2; 鹿児島.
- ・ 高橋恵子, 亀井智子, 大森純子, 有森直子, 麻原きよみ, 菱沼典子, 新福洋子, 田代順子, 大橋久美子. 市民と看護職とのパートナーシップに基づく「People-Centered Care」の概念の再構築. 第37回日本看護科学学会学術集会; 2017 Dec 16-17; 仙台.

- ・田口敦子, 松永篤志, 倉田里衣子, 山内悦子, 後藤悦子, 浦山美輪, 菅野エリ子. 外来における在宅療養支援カンファレンスの実態および標準化に向けた試行(第1報). 第19回日本医療マネジメント学会学術総会; 2017 Jul 7-8; 仙台.
- ・津野陽子, 尾形裕也, 古井祐司, 今井延佳, 豊泉樹一郎, 堀内俊太郎, 岸本千絵. 健康経営の枠組みに基づく成人期の注意欠如多動症と生産性および精神健康の関連. 第90回日本産業衛生学会; 2017 May 17; 東京.
- ・津野陽子, 尾形 裕也, 古井 祐司, 渋谷 克彦, 井手 義雄, 平田 輝昭, 福井 卓子. 病院組織における生産性指標の改善に関連する健康リスクの経年変化の検討. 第55回日本医療・病院管理学会学術総会; 2017 Sep 18; 東京.
- ・津野陽子, 古井祐司, 今井延佳, 堀内俊太郎, 岸本千絵. 健康経営の枠組みに基づく成人期 ADHD の生産性損失コストおよび健康リスクの関連. 第76回日本公衆衛生学会総会; 2017 Oct 31; 鹿児島.
- ・堀内俊太郎, 今井延佳, 岸本千絵, 津野陽子, 古井祐司. 健康経営の枠組みに基づく成人期 ADHD の精神的健康および精神疾患発症の関連. 第76回日本公衆衛生学会総会; 2017 Oct 31; 鹿児島.
- ・山内泰子, 後藤悦子, 山内悦子, 田口敦子, 松永篤志, 永田智子. 外来での在宅療養支援カンファレンスの標準化と実行可能性を高めるための試行. 第19回日本医療マネジメント学会学術総会; 2017 Jul 7-8; 仙台.
- ・山内悦子, 後藤悦子, 浦山美輪, 菅野エリ子, 田口敦子, 松永篤志, 倉田里衣子. 外来における在宅療養支援カンファレンスの実態および標準化に向けた試行(第2報). 第19回日本医療マネジメント学会学術総会; 2017 Jul 7-8; 仙台.
- ・柳澤萌美, 田口敦子, 大森純子. 東日本大震災における5年間の心のケアニーズの変化<住まうことに着目して>. 第76回日本公衆衛生学会総会; 2017 Oct 31-Nov 2; 鹿児島.
- ・吉澤彩, 田口敦子, 大森純子. 看護拠点を立ち上げた看護師の地域におけるケアの特徴. 第76回日本公衆衛生学会総会; 2017 Oct 31-Nov 2; 鹿児島.

6. 外部資金獲得 (主任研究) ※2017年度の新規獲得のみ (継続分は昨年度報告済み)

| |
|--|
| |
|--|

7. 外部資金獲得 (分担研究) ※2017年度の新規獲得のみ (継続分は昨年度報告済み)

- ・津野陽子 (分担研究者) 大規模コホートデータによる健康と生産性の最適化を目指す働き方モデルの構築. 平成 29 年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)). 2017 Apr-2019 Mar.
- ・津野陽子 (分担研究者) 生活習慣病予防の労働生産性への影響を含めた経済影響分析に関する研究. 平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金. 2017 Apr-2018 Mar.

8. 外部資金獲得 (その他) ※2017年度の新規獲得のみ (継続分は昨年度報告済み)

| |
|--|
| |
|--|